



《将来に向けた取組方針》

当社は森林資源である木材を利用した事業を営むにあたり、生物資源の持続可能な利用と事業活動との調和を目指します。原料調達においては、古紙を有効利用するとともに、持続可能性が確認された木材を原料とするパルプの調達を通じて、生物多様性や持続可能な利用に取り組みます。さらに、新たな古紙利用の開発、森林認証製品の普及や省資源製品の開発を通じて生物多様性の保全に貢献します。また、気候変動、資源循環などの地球環境問題にサプライチェーン全体で取り組むことにより、生物多様性に対する影響の低減に努め、地域社会や行政などのステークホルダーとの協働にも積極的に取り組んでいきます。

〈具体的取組み事例〉

持続可能な原料調達

当社主力製品である板紙において、古紙の利用拡大と木材パルプの調達方針（2018年制定）の実践で、生物資源の持続可能な利用に取り組む。

- ・板紙の原料に占める古紙の割合（古紙利用率）：98%
- ・木材パルプの調達方針に則ったパルプ（FSC森林認証パルプ）の調達：2%



FSC森林認証製品の普及

2016年に全ての製紙、段ボール、紙器工場でFSC森林認証を取得し、認証製品の全国への供給体制を確立。自社製造の原紙を使用した段ボール製品のほぼ全てをFSC森林認証として供給可能。

環境保全活動

工場敷地内にビオトープを造成し、生物多様性の保全活動を推進。自然環境を守る取組みとして、地域住民の方々と共同でホテルの定着を目指している。

省資源製品の開発

段ボール原紙の軽量化、段ボールの薄物化に取り組むことで、製造・物流における省エネルギー化にも貢献。
・2002年から段ボール原紙の軽量化に取り組み、軽量原紙や軽くて強度の高い軽量強化原紙を開発
・薄物段ボールの普及に取り組み、2005年にはCフルート段ボールを推進、2013年には当社オリジナル規格のΔ（デルタ）フルート段ボールを開発



〈社会に向けたメッセージ〉

“Less is more.”

パッケージングの可能性を、未来の可能性により少ない資源で大きな価値を生むパッケージづくり



Eフルート(1.5mm)

DELTA FLUTE (2mm)

Bフルート(3mm)

Cフルート(4mm)

Aフルート(5mm)

